

日本語教育機関教育活動自己点検評価結果

令和5年5月31日

早稲田文化館日本語科

校長 今井めぐみ

<自己点検評価結果総評>

アフターコロナで一気に学生数が増加した（元に戻ってきた）ため教職員を増員、多くの新人を抱えながらの再出発となった。3 密回避のために座席数を削減しなければならず、施設・設備面での対応も必要となった。このような高負荷の状況下でやるべきことをきちんとこなし、前年度からの改善を着実に進めることができた。職員、非常勤講師の皆さんの努力に感謝したい。

<評価方法>

各項目について全職員（非常勤講師含む）を対象にアンケート調査を実施し、達成状況を客観的に判断できるようにした。

- ・A：「達成されている」あるいは「適合している」項目。
- ・B：「一部未達成」であるが、1年を目途に達成あるいは適合が確実な項目。
- ・C：「未達成」あるいは「適合していない」項目。

1. 学校運営

1-1.日本語教育機関の告示基準に適合している。	適合 (「告示基準 定期点検報 告書」参照)
--------------------------	---------------------------------

2. 入学者の募集

2-1.教育内容を含む最新、かつ、正確な学校情報を開示している。これらは想定する入学志願者の理解できる言語で行うよう努めている。	A	入学前から、親御さんとの連絡を密にし、正確な情報を得ることに努めており、今後もそれを続けていく。
2-2.海外の募集代理人（エージェント等）の行う募集活動が適切に行われていることを把握している。	A	

3. 入学者選考

3-1.入学者の選考に関し、学習能力、勉強意欲、経費支弁能力、日本語能力等について根拠資料で確認する等、適切な方法により確認している。	A	入学者の選考面談は手間と時間のかかるものであるが、入国後の学生管理にとって重要かつ必要不可欠であるため、今後もきちんと続けていく。
3-2.入学者の選考に当たっては、学校関係者(職員等)が面接等を行うよう努めている。	A	

#### 4. 納付金

4-1. 入学検定料，入学金，授業料その他納付金の金額，納付時期，納付方法，及び学費以外に入学後必要な費用を募集要項等に明記している。	A	納付金に変更がある際は、6カ月前に周知するよう努めている。
4-2. 関係諸法令に基づいた学費返還に関する規定を定め公開している。	A	
4-3. 上記 4.1 及び 4.2 については入学志願者，在籍者及びその経費支弁者の理解できる言語で情報公開に努めている。	A	

#### 5. 学生支援

5-1. 日本社会を理解し，適応するための取組を行っている。	A	中級レベル以上のクラスでは選択授業で日本文化や日本事情に触れる機会があるが、初級にはないため、今後は入学後すぐ母語で指導する機会を作ることを検討する（自転車の乗り方など）。 中級レベル以上の進路指導はしっかり行っているが、今後は初級レベルから学歴、志望校等、正確に情報収集し進学指導につなげる。
5-2. 進路指導を適切に行っている。	A	
5-3. 重篤な疾病や傷害及び交通事故のあった場合の対応を定めている。	A	
5-4. 入管法上の留意点について学生への伝達，指導を定期的に行っている。	A	
5-5. 不法残留者，資格外活動違反者，犯罪関与者等を発生させないための取組を継続的に行っている。	A	

#### 6. 教員

6-1. 校長，主任教員，専任教員及び非常勤教員の職務内容を明確に定めている。	A	教育力向上のためのプロジェクトを立ち上げ、その結果を全体ミーティング等で共有する(今年度は漢字プロジェクト)。全てのクラスの勉強会を毎期実施することは難しいが、中上級以上はクラスごとに、それ以外はレベルごとに実施することを検討中。
6-2. 教職員の教育力及び支援力強化のための研修等を実施するとともに，他機関の実施する研修会等への参加を促している。	B	
6-3. 教員評価を適切に行っている。	A	

#### 7. 教育活動

7-1. 理念・教育目標に合致したコースを設定し，カリキュラムを体系的に編成している。	A	現状に対する評価は満足できるレベルではあるが、改善項目として、「中級レベル以上は JLPT、EJU 対策が多すぎるため会話力を伸ばすカリキュラムが必要」という意見が多くでているため、今後検討を進める。 学期ごとの授業に関する反省点については、クラスごとにまとめ、閲覧できるようにしたい。 特に 7-3 に関しては、授業見学と見学後のフィードバックに力を入れており、今後も続けていく予定。
7-2. 授業開始前までに学習者の日本語能力を試験等で判定し，適切なクラス編成を行っている。	A	
7-3. 教員の能力，経験等を勘案し，適切な教員配置をしている。	A	
7-4. 授業記録簿等を備え，実施した授業を正確に記録している。	A	
7-5. 理解度，到達度の測定と評価を実施期間中に適切に行い，その結果を的確に学生に伝えている。	A	
7-6. 授業評価を含む教育活動の評価を定期的に行っている。	A	

## 8. 教育施設

8-1. 教室内は十分な照度があり換気がなされているとともに、語学教育に必要な遮音がなされている。	B	昨年度は近隣でビル工事が多かったため、施工業者との調整が大変だったが、周辺の騒音については今年度は平常に戻るものと思われる。
8-2. 授業時間外に自習できる部屋の確保に努めている。	A	
8-3. 法令上必要な設備等を備えている。	A	

## 9. 安全・危機管理

9-1. 対象となる学生全員が国民健康保険に加入している。	A	災害発生時の避難訓練についてはDVD や PPT による教育だけでなく、実地訓練（都が定める広域避難場所への誘導）を行うよう検討を進める。
9-2. 感染症発生時の措置を定めている。	A	
9-3. 気象警報発令時の措置，災害発生時の避難方法等を定め，教職員及び学生に周知している。	B	

## 10. 法令の遵守等

10-1. 法令遵守に関する担当者を定めている。	A	留学や入管難民法に関わること、労働基準法に関わることについては、特に法令遵守に努めており、今後もその都度新しい情報を得ながら、進めていく。
10-2. 教職員のコンプライアンス意識を高めるための取組を行っている。	A	
10-3. 個人情報保護のための対策をとっている。	A	
10-4. 地方出入国在留管理局，その他関係官公庁，日本語教育振興協会等への届出，報告を遅滞なく行っている。	A	

## 11. その他職員・講師満足度

11-1. 報酬、その他の待遇について適切であると感じているか。	B	昨年度は新規採用の教職員が多く、業務分担や講師職務規定に関するOJT 教育（具体的に何をどのようにしなければならぬか）が十分できなかった。引き続き新人に対する指導、助言を実施していく。
11-2. 事務職員・専任講師の任務遂行について適切であると感じていますか。	A	
11-3. 校長・理事長の事務職員の任務遂行について適切であると感じていますか。	A	
11-4. 自分の業務を十分に遂行できていますか。（職務内容、仕事量など）。全体を見回してみて、職員の役割分担は適切だと思いますか。	B	

## 12. 財務

12-1. 財務状況は学校運営に適切な状態となっているか。	A	年に一度の全体ミーティングで決算の金額を1円単位まで全員に報告している。
12-2. 年に1回全従業員に向けて決算報告が公開されているか。	A	

以上